

ぎゅうぎゅう通信 特別号

今回は”山地酪農で牛も自然もハッピー号”です

こんにちは！中央農業高校、畜産科学科3年の宮岡です。私は酪農部に所属しており、日々の部活動での管理や課題研究の授業を通し、牛について学んでいます。中学生時代、不登校だった私は大自然の中で自由に過ごす牛たちの姿に魅了され、農業高校へ進学しました。そんな私の人生を大きく変えてくれた山地酪農の魅力を知ってもらうため、今回ぎゅうぎゅう通信特別号を書くことにしました！

私は将来、山地酪農というその名の通り山で酪農をすることを夢に見ています。その夢のために栃木県や静岡県、岩手県の牧場へ研修へ行き、積極的に活動しています。学校では放牧についての知識を深めるための研究を行い、これらの活動を作文にしたものが評価された実績もあります。

このぎゅうぎゅう通信で大自然と牛が共生する山地酪農について、魅力を少しでも感じて頂きたいです！



牛を飼うといえば...?

最初に、牛は一般的にどんな所で飼われているか知っていますか？牛は牛舎という牛を飼育する施設で暮らしています。放牧は広い土地が必要なため日本にはあまり普及していません。ですが、日本の7割は山です。だからこそ使われていない土地や、耕作放棄地などを活用した山地酪農が日本で普及して欲しいと私は思っています。



学校の牛舎

山地酪農とは？

皆さんは放牧と聞いてどのような場所を思い浮かべますか？おそらく広い平原を想像するのではないのでしょうか？ですが！実は山でも牛を飼えるんです！山で牛を放牧する飼育方法を「山地酪農」と言います。山は斜面が多くて牛が過ごすには大変なことが多そうな気がしますが、急斜面だろうが牛はもろともせず登っていきます！それに大自然の広大な土地で悠々自適に暮らす牛たちの姿はとても癒されます。

牛たちは毎日広大な敷地で過ごし、1日に2回搾乳をします。搾乳が終わったあとは、牛たちの自由な時間です。餌を食べるために斜面や、雨でぬかるんでいるきつい山道ももろともせず登っていく親子や、日向でぐっすり眠る子牛もいます。人と同じように牛達の過ごし方にもそれぞれ個性が出ています。



どうして牛も自然もハッピーになるの？

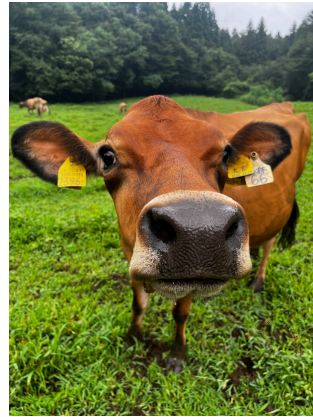
現在日本の山のほとんどが天然林ではなく実は人工林なんです！その人工林が現在放置され、地面に日が当たらないため植物が育たず、ジメジメとした薄暗い山になってしまっています...

そこで！この問題を解決することができるのが山地酪農という訳です！山地酪農では木を適切に管理し、地面に日が当たるようにするため自然豊かな日当たりのよい山になります。そして、日が当たることで生えてきた植物を牛が食べ、糞をします。牛の糞は植物の栄養になるので牛が関与することでより良い土地作りが可能になり、山にとっても、牛にとっても良い環境になっていきます。牛が植物を食べることで野芝という植物が自生するようになります。

野芝ってなに？

野芝は匍匐茎(ほふくけい)といい、茎が横に伸びる性質があります。そのため植物が生えていない裸地にもいずれ根が伸びて草地になります。匍匐茎という性質は表面を覆い、地中にはびっしり根が生えることから土壌流出を抑え、土砂災害を防ぐ効果を高めることができるすごい植物なんです！

右の写真は研修先の放牧場です。野芝がびっしり生えています！



山地酪農を推進したい！

しかし、山地酪農を実践している農家は日本に約10軒ほどで、ごく小数なんです。そこで私は山地酪農をもっと身近なものにするために課題研究として学校の圃場を使用した放牧に取り組んでいます！昨年の冬には牧草ロールを柵として利用し、短期的な放牧を行っていました。現在は本格的な放牧を行うため、学校に生えている野芝の耐久実験や、トラクターを使用して圃場を耕したり、夏場の暑さ対策として

日除けの屋根設置するための計画を立てるなど下準備をしている段階です。夏に放牧実験を行う予定なので、近くを通るときは見れるかもしれません。



冬に放牧した時の写真
楽しそうに走り回り、
刈り取り後に残った草を食べていました。

循環型農業は自然に優しい農業！

その他にも自然に優しい活動として、スターバックスコーヒー海老名中央店さんからコーヒーを抽出した後の搾りかす、コーヒーかすをいただき、敷料に混ぜて使用しています！敷料として使用したコーヒーかすは、牛の糞と混ぜりやがて堆肥に、そしてその堆肥を栄養に牧草が育ちます。その牧草を牛が食べることで、普段皆さんが飲んでいる牛乳になっています！
皆さんがおいしく飲んだコーヒーが、巡り巡って皆さんのもとに。
私が理想とする山地酪農も、この循環型農業も、自然に優しい農業の形なのです。



今後も自然に優しい農業ができるように、活動を継続していきます！このぎゅうぎゅう通信を読んで、興味を持っていただければ嬉しいです。中央農業高校では、酪農教育ファームという体験会も実施していますので、ぜひ遊びに来てください！

この記事の感想、お待ちしております！

二次元コードから入力していただくと嬉しいです！ 

中央農業HPはこちら↓

